

製品名: エフリン A1 (13M11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10531**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	EFNA1
別名	B61; EFL1; ECKLG; EPLG1; LERK1; LERK-1; TNFAIP4;
遺伝子 ID	1942.0
SwissProt ID	P20827
免疫原	ヒトエフリン A1 の合成ペプチド

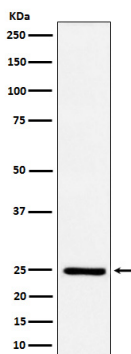
背景

血管新生と腫瘍血管新生に重要な役割を果たします。リン酸化 EPHA2 による VAV2、VAV3、および PI3 キナーゼ p85 サブユニットのリクルートは、EFNA1 誘導性 RAC1 GTPase 活性化と血管内皮細胞の移動と集合に重要です（類似性による）。神経、血管、上皮の発達中の移動、反発、接着に重要な受容体チロシンキナーゼファミリーである Eph 受容体に対する細胞表面 GPI 結合リガンド。隣接細胞に存在する Eph 受容体に無差別に結合し、隣接細胞への接触依存性の双方向シグナル伝達を引き起こします。血管新生と腫瘍血管新生に重要な役割を果たします。リン酸化 EPHA2 による VAV2、VAV3、および PI3 キナーゼ p85 サブユニットのリクルートは、EFNA1 誘導性 RAC1 GTPase 活性化と血管内皮細胞の移動と集合に重要です。EPHA2 の活性化とダウンレギュレーションを介して腫瘍細胞に抗腫瘍効果を発揮する。チロシンリン酸化を誘導することで EPHA2 を活性化し、その内部移行と分解を促進する。EPHA2 と FAK のダウンレギュレーションを介して神経膠腫の腫瘍形成を抑制する。胚性神経細胞の成長円錐の崩壊を誘発し、樹状突起棘の形態形成を制御する。

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



TNF アルファで処理した HUVEC 細胞におけるエフリン A1 発現のウエスタン プロット分析。